



平成25年 7月23日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

結果のお知らせ

大規模な油流出時等の災害支援機能を有する
「清龍丸（浚渫兼油回収船）」が
秋田県石油コンビナート等防災訓練に参加しました。
～併せて、秋田港で一般公開を実施～

1. 概要

国土交通省中部地方整備局は、7月16日(火)に独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構秋田国家石油備蓄基地(男鹿市船川港)において実施された秋田県石油コンビナート等防災訓練^(注)に、名古屋港湾事務所に所属する浚渫兼油回収船「清龍丸」を派遣しました。清龍丸は大規模な油流出事故対応を図ることを目的とした海上訓練に参加し、北陸地方整備局に所属する浚渫兼油回収船「白山」と連携した油回収訓練を行いました。

^(注)秋田県石油コンビナート等防災本部主催、陸・海・空14機関が参加

また、本訓練に併せて、7月15日(月)に秋田港で一般公開を実施しました。1532人の見学者が訪れ、大規模な油流出災害に備える油回収機能や東日本大震災直後の緊急物資輸送にも従事した災害支援機能などについて、操舵室や災害対策室などで説明を行いました。

なお、同船は7月10日に名古屋港を出港し、7月20日に名古屋港に帰港しました。引き続き名古屋港の大水深航路の整備(浚渫工事)を行うとともに、関係機関と連携し大規模災害に備えます。

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境課 塚本(つかもと)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



防災訓練参加状況(7月16日)



・油回収訓練中の清龍丸



・白山(左) と 清龍丸(右)



・低粘度対応型油回収器の作動



・水ジェット集油装置の作動



・操舵室からの油回収器遠隔操作



・衛星回線による訓練映像通信訓練



一般公開実施状況(7月15日)



・秋田港入港歓迎式典



・白山(奥) と 清龍丸(手前)



・見学者乗船



・甲板デッキの見学



・操舵室の見学



・サロンの見学

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。

「清龍丸」の諸元

- 所属
中部地方整備局
名古屋港湾事務所
- 基地港
名古屋港 V3岸壁
- 着岸岸壁
水深 -7.5m以上
- 全長、全幅、純トン数
104m、17.4m、4,792t
- 最大速度
13.5kt (約25km/h)



低粘度油回収状況



高粘度油回収状況

ヘリ着船



給水



災害対策室兼会議室

